『妙法蓮華経 日月の光明の、 如来神力品 能く諸の幽冥を除くが如く、 第二十一』に曰く、

斯の人世間に行じて、このとせけんぎゃう 地上の社会生活にも、 一切の諸の闇は、いつさい もろもろ やみ 闇がある。 能く衆生の闇を滅す」。

人の心の中にも、 また闇がある。

衆生のために、 印度の民族であり、 この犠牲壇に立つ人は、 社会生活の闇、 これらの闇は、 苦痛を甘んずる、 大光明をかかぐる日本国と、 人の心の闇を除くことのできる者は、 日月の光明をもってしても、 如来の遺教を摂受し、正法をして、悪世末法に伝持し、によらい いきょう *じょうじゅ しようぼう 尊き犠牲の血と涙とによってのみ、 かつて釈迦牟尼世尊を生み、 日本民族とである。 なお、 よく消除することはできない。 龍樹、 ただ慈悲勝れたる人の、 除くことができる。 天親を生みし、 印度の国と、 よく五濁の 艱難を忍

-36 -

使命も、 印度の高き使命も、 また地上に戦争を否定して、 地上に戦争を否定して、衆生の生命を守ることであり、 衆生の生命を守ることである。 日本の高き

非暴力、 但行礼拝は、作善の戒律である。 無抵抗、 不殺生は、止悪の戒律であり、

寺院の中の礼拝よりも、 我が身を殺しても、 他人を殺すな。 十字街頭の礼拝に出でよ。

仏像の礼拝よりも、 人間の礼拝をなさねばならぬ。

悪人を殺しても、 その殺すことによって、 彼の悪心を止めることはできない

これが末法悪世を救う、 悪人を礼拝することによって、彼の悪心を転ぜしむることができる。 但一行の宗教である。

南無妙法蓮華経

(藤井日達山主御書『第三次世界大戦』より)

*露国=ロシアのこと。 *這般=このたび。 *開闢=天地のはじめ。 *露国=ロシアのこと。 *這般=このたび。 *開闢=天地のはじめ。 黄色人種の進出によって、白色人種に災禍が加えられるであろうという人種主義的感情論。 * 清疑=他人の行いや性質をすなおに理解せず、ねたんだり疑ったりすること。 * 黄禍論=は、 * 清がき

17頁 * 禽獣=ちくしょう。 16頁 * 謬見=まちがった見解・ をもさせる。 * 露国=ロシアのこと。 ゠まちがった見解・意見。

18頁*愚痴=ものの道理の見分けがつかないおろかさのこと。

『妙法蓮華経 日月の光明の、 第二十一』に曰く、

地上の社会生活にも、 一切の諸の闇は、 斯の人世間に行じて、 闇がある。 能く衆生の闇を滅す」。

人の心の中にも、 また闇がある。

社会生活の闇、 これらの闇は、 苦痛を甘んずる、 人の心の闇を除くことのできる者は、 日月の光明をもってしても、 尊き犠牲の血と涙とによってのみ、 なお、 よく消除することはできない。 ただ慈悲勝れたる人の、 除くことができる。 艱難を忍

衆生のために、 印度の民族であり、 この犠牲壇に立つ人は、 大光明をかかぐる日本国と、 如来の遺教を摂受し、正法をして、悪世末法に伝持し、によらい いきょう *じょうじゅ しようぼう かつて釈迦牟尼世尊を生み、龍樹、 天親を生みし、 印度の国と、 よく五濁の

-36 -

印度の高き使命も、 地上に戦争を否定して、衆生の生命を守ることであり、 日本の高き

日本民族とである。

非暴力、 使命も、 無抵抗、 また地上に戦争を否定して、 不殺生は、止悪の戒律であり、 衆生の生命を守ることである。

但行礼拝は、作善の戒律である。

寺院の中の礼拝よりも、 我が身を殺しても、 他人を殺すな。 十字街頭の礼拝に出でよ。

仏像の礼拝よりも、 人間の礼拝をなさねばならぬ。

悪人を殺しても、

悪人を礼拝することによって、彼の悪心を転ぜしむることができる。 その殺すことによって、 彼の悪心を止めることはできない

これが末法悪世を救う、 但一行の宗教である。

南無妙法蓮華経

(藤井日達山主御書『第三次世界大戦』より)

*露国=ロシアのこと。 *這般=このたび。 *開闢=天地のはじめ。 *露日 ロシアのこと。 *這般=このたび。 *開闢=天地のはじめ。 黄色人種の進出によって、白色人種に災禍が加えられるであろうという人種主義的感情論。15頁 *猜疑=他人の行いや性質をすなおに理解せず、ねたんだり疑ったりすること。 *黄禍論=15頁 *拮ぎ

17頁 * 禽獣=ちくしょう。 16頁 * 謬見=まちがった見解・ なゆきりん * 露国=ロシアのこと。 =まちがった見解・意見。

18頁*愚痴=ものの道理の見分けがつかないおろかさのこと。